



健康事業団だより



平成 30 年 12 月 12 日、セントヒル長崎において「平成 30 年度労働衛生管理等に関する健康診断担当者研修会」を開催しました。今回 5 回目の開催で、約 50 名を超えるご参加をいただきました。お忙しい中、ご参加いただいた皆様にこの場をお借りして、お礼申し上げます。

平成 30 年度

労働衛生管理等に関する健康診断担当者研修会プログラム

1) 主催者挨拶

2) 講演Ⅰ「治療と仕事の両立支援の取り組み方」

独立行政法人 労働者健康安全機構 長崎産業保健総合支援センター

産業保健専門職（保健師・両立支援コーディネーター）山下 美和子 様

3) 講演Ⅱ「当社におけるメンタルヘルス対策～ハイリスクアプローチを中心に～」

長崎船舶装備株式会社 保健師 田中 かおり 様

4) 長崎県健康事業団 保健師より

・腎機能検査について

・健康事業団が実施したアンケート調査結果について

長崎産業保健総合支援センター 山下様より

「治療と仕事の両立支援の取り組み方」と題してご講演いただきました。

働く世代のがん罹患数が増加傾向にある中、がんになっても安心して仕事を続けられるような職場環境が求められています。

とはいえ、「治療と仕事の両立支援を進めるために何から始めて良いものか?!」とお悩みの担当者にすぐに役立つ内容盛りだくさんのご講演でした。



長崎船舶装備株式会社 田中様より

「当社におけるメンタルヘルス対策～ハイリスクアプローチを中心に～」と題して、日頃の活動を交えてご講演いただきました。

メンタルヘルス対策の具体的な取り組みを学ぶと同時に、人材を第一、相談業務を最も優先し日々奮闘されている姿に元気をもらえご講演でした。



精神科疾患を患い療養期間が長くなると 症状は安定しても
 「生活リズムの乱れ」
 「本人の復職に対する不安」
 「周囲の無理解」 などが復職のハードルになる

休職を過ぎても復職できなかった場合

自然退職
 人材を失う

中小企業にとって死活問題

当事業団保健師より、腎機能検査（クレアチニン及び eGFR）を無料化し実施した検査結果データの分析と検査の必要性等についてお話しさせていただきました。

また、当事業団が H30 年 10 月に実施したアンケート調査結果についてお礼とご報告をさせていただきました。（詳細は次ページに！）



公益財団法人 長崎県健康事業団

〒859-0401 諫早市多良見町化屋 986-3

TEL 0957-43-7131 (代表) FAX 0957-43-7139

<http://www.npmhc.jp>

アンケート調査結果のまとめ

1.調査の概要

【調査対象】

事業団で平成28年度、29年度の両年度に健診実績のある企業847団体

【方法】

アンケート調査票を郵送。返信用封筒を同封し、郵送またはFAXでの返送を依頼。

【調査期間】

平成30年10月16日に調査票を送付。10月31日を回答期限とした。

【調査内容】

- (1)従業員の健康管理を行う中で困っていること
- (2)利用したいと思う事業
- (3)健診に関するご意見・要望

【回答率】

39.2%(332団体より回答)



回答率約4割

貴重なご意見を
ありがとうございました！



2.調査結果

(1)従業員の健康管理を行う中で困っていること(自由記述)⇒ 記入あり:のべ158件

《健診結果に関すること》

- ・健診結果「病院受診」等で病院を受診しない従業員がいる(21件)
- ・健診結果が「病院受診」等の従業員へのフォローについて(16件)
- ・結果で病院受診(要精密)が多い(2件)
- ・有所見者が多い(2件)
- ・健診結果を活かしきれていない(2件)
- ・改善のないまま翌年の健診受診になることもある など

《保健指導、健康相談に関すること》

- ・健康診断は毎年行うがそれ以上指導したりすることは難しい
- ・保健指導を受けたがらない
- ・健診の結果でどこの病院に行けば良いか、腹痛があるが近くにいい病院がないかなどの相談に対応できない
- ・保健指導を行っても拒否し聞き入れない職員への対応
- ・私生活の改善や体調管理についての意識が低い など

《健康管理、健康状態の把握に関すること》

- ・個人の健康状態を把握するのは困難(性別・プライバシーなど)(7件)
- ・女性従業員へ健康管理アドバイスがセクハラと受け取られないかの心配
- ・個人情報観点から会社がどこまで介入できるか判断が難しい
- ・何をどこまで管理したらいいのかわからない
- ・時間外労働での疲労貯蓄が見えにくく健康管理しづらい

《健診機関に関すること》

- ・全従業員、医療機関(健診機関?)の統一を図りたいが産業医の関係で出来ない
- ・健診機関(医療機関)が複数なため集計等手間がかかる
- ・離島の従業員が健康診断を受診できる医療機関が限られている
- ・運転手健診、VDT検診を受診できる医療機関が限られている
- ・最近健康診断の結果が疑われるニュースがあるが大丈夫か? など

《その他》

- ・仕事時間が不規則で従業員の体調管理が心配
- ・高齢者が多いのでどう健康管理を行っていけばよいのか
- ・長時間パソコンを見ることによる視力低下
- ・検査項目を増やした方がいいのか？
- ・胃がん・大腸がんの受診状況が悪い など

(2) 利用したいと思う事業(選択方式) ⇒ 記入あり: のべ360件

- 第1位 追加検査を検討される際のお役立ち資料の作成(79件)
- 第2位 健診結果分析資料の提供、説明(58件)
- 第3位 ストレスチェックの実施及び事後措置(56件)
- 第4位 保健師の派遣(健診結果説明会・健康相談の実施)(39件)
- 第5位 産業医の派遣(職場巡視・衛生委員会への参加)(21件)

お知らせ

「追加検査を検討される際の資料」として
「追加するならこの検査！」を作成しました。(次ページ参照)
検討時の参考となれば幸いです。

(3) 健診に関するご意見・ご要望(自由記述) ⇒ 記入あり: のべ146件

- ・健診場所、時期、日数、など健診計画に関する要望
- ・待ち時間の短縮化、健診の流れに関する要望
- ・プライバシーへの配慮に関する要望
- ・接遇に関すること
- ・健診結果や請求など健診後の処理に関する要望 など

3. アンケート調査結果をうけた今後の取り組み

① 新たな帳票、資料の作成・提供

- ・精密検査依頼状のような帳票
- ・健診後にフォローの内容を記入できるような名簿
- ・健診結果分析資料

※以上3項目について、作成・提供を前提に内部で検討したいと思います

② プライバシーに関する要望や接遇に関すること、健診結果及び請求に関することなどは関係各課と改善策について検討していきます

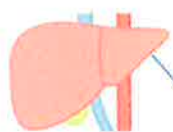
③ 保健師による保健指導・健康相談等の実施(有料)

いつでもご相談ください。
お待ちしております！



労安法に
プラスして

追加するならこの検査！



肝臓・胆のう

- ・肝炎ウイルス検査
- ・総蛋白(TP) ・LDH
- ・アルブミン
- ・総ビリルビン(T-Bil)
- ・TTT ・ZTT ・A/G比
- ・ALP ・LAP ・Ch-E

腹部(肝臓・胆のう・膵臓・腎臓など)

- ・腹部エコー検査



腎臓

- ・BUN
- ・尿潜血



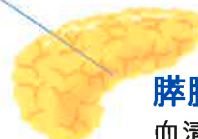
胃

- ・ヘリコバクター・ピロリ抗体検査
- ・胃癌リスク層別化検査(ABC分類)
- ・胃癌検診(胃部X線検査)



大腸

- ・大腸がん検診(便潜血検査)



膵臓

- 血清アミラーゼ

血液に関する検査

- ・白血球数(WBC)
- ・血小板数(PLT)
- ・血清鉄

骨

- ・骨粗鬆症予防健診(DXA法)



目

- ・VDT健診



感染症や病気の発見に...

- ・風疹 ・梅毒
- ・痛風 ・CRP
- ・腫瘍マーカー
(CEA,AFP,CA19-9,PSA)



お申し込み、お問い合わせは

(公財)長崎県健康事業団 健診事業課

TEL 0957-43-7131(代)